取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。
(財)ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービス
などに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定された住宅部品です。
さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

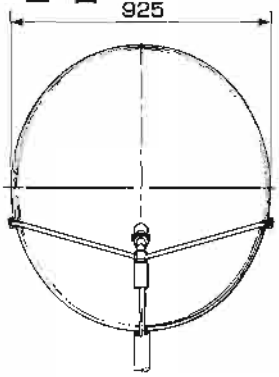
DX ANTENNA
DX ANTENNA CO., LTD.

DIGITAL

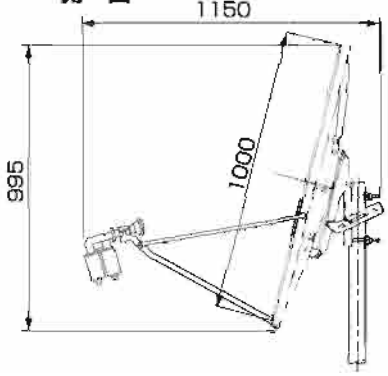
テレビ共同受信機器

90形CSアンテナ
CSA-901B（BL型式 CSA-90）

正 面



側 面



寸法はアンテナ仰角40°、ポール径φ60.5の場合の
最大外形寸法です。
（単位：㎜）

目 次

取扱説明書
- 製品の特長 ―― 1
- お取扱い上のご注意 ―― 1
- 安全上のご注意 ―― 1
- 主な性能 ―― 2
- 各部の名称 ―― 2
- メンテナンス ―― 2

施工説明書
- 設置上のご注意 ―― 3
- 構成部品 ―― 3
- 組立方法 ―― 4
- 取付方法 ―― 4
- アンテナとケーブルの接続 ―― 5
- 調整方法 ―― 5
- 保証について ―― 8
- お問い合わせ ―― 8

製品の特長

- 低雑音のCSコンバータを採用していますので、鮮明な画像を再現します。
- 一次放射器やそのアームステーが電波の陰をつくらない受信効率の優れたオフセット形を採用しました。
- 細部にわたる合理化設計でアンテナの組み立てが簡単です。
- アンテナの方向調整がスムーズに行える独自の無段階微調整機構を採用し、マスト取り付けも簡単です。
- 反射鏡はひときわ高いアンテナ利得が得られる大口径（短径90cm）で、内部に高効率特殊カーボンの反射層を持つ強化樹脂製ですので、変形の心配もありません。
- CS両偏波給電部（OMT付）を採用していますので、垂直・水平偏波を同時受信でき、簡単に鮮明な画像をお楽しみいただけます。

お取扱い上のご注意

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪い時は危険ですから、取付や点検作業は行わないでください。
- CSアンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは絶対に回さないでください。
- CSコンバータへの接続は、必ずS-5C-FB、S-7C-FB相当以上の衛星放送対応ケーブルとケーブルに適した防水形F形接栓をご使用ください。接続後は、必ず付属の自己融着テープなどを使用して防水処理を行なってください。

安全上のご注意

⚠	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
●	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）

- 表示された電源電圧（DC15V）以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れます。同軸ケーブルなどを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。ショートさせないでください。また、途中には電流通過型機器以外は挿入しないでください。火災や感電の原因となります。

安全上のご注意のつづき

- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解したり、修理や改造はしないでください。感電やけがの原因や、性能維持できなくなり故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。
- 万一、このアンテナを落としたり、CSコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。
- 取付ネジやボルト、接栓は、締付力（トルク）に指示がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけが、故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがの原因となることがあります。点検は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

主な性能

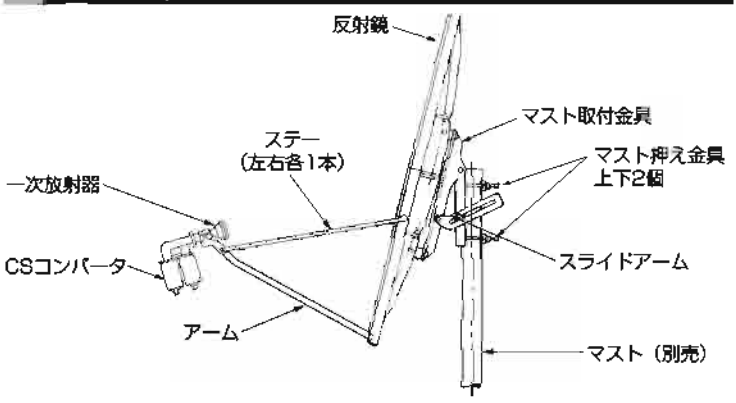
品名	90形CSアンテナ
品番(BL形式)	CSA-901B（CSA-90）
受信周波数(GHz)	12.20～12.75
受信偏波	直線偏波（垂直および水平）
アンテナ利得(dBi)	39.4以上
電圧定在波比	1.3以下
指向性	主偏波 JEITA CPR-5104A A'カーブに適合 交差偏波 JEITA CPR-5104A B'カーブに適合
G/T (dB/K)	17.3以上
耐風速(m/s)	破壊風速 60 注1）
適合マスト(mm)	φ48.6～90
仰角調整範囲(°)	25～65
偏波角調整範囲(°)	±25
質量(kg)	11.5

〈CSコンバータ部〉	
入力周波数(GHz)	12.20～12.75
出力周波数(MHz)	1000～1550（垂直偏波）、1522～2072（水平偏波）
総合利得(dB)	54±4
利得偏差(dBp-p)	6以下
雑音指数(dB)	1.2以下
出力電圧定在波比	2.5以下
相互変調妨害比	−75dB（mW）入力の2信号で58dB以上
イメージ妨害抑圧比	31dB以上
局部発振周波数の源動	±1.5MHz以内（−30～+50℃）
局部発振信号の漏洩(入端)	−55dBmW以下
局部発振周波数(GHz)	垂直偏波：11.2 水平偏波：10.678
局発位相雑音(dBc/Hz)	−47（1kHz）、−65（5kHz）、−75（10kHz） 以下
電源	DC15V 6W以下

注1）破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。

規格および外観は改良により、変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
補修部品の設定はありません。

各部の名称



組立方法、ケーブル接続については、4ページ、5ページをご覧ください。

メンテナンス

いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検を依頼してください。

※保証等については8ページをご覧ください。

＜ご注意＞
アンテナ設置時は、ショート防止のためケーブルの接続など、すべての設置作業が完了する迄、デジタルチューナ（デジタルチューナ内蔵テレビ）やブースタの電源プラグをはずしておいてください。
電源供給時に電源をショート（ケーブルの心線と外側の導体を接触するなど）させると、アンテナのコンバータを動作させる直流電源を供給しているデジタルチューナ（デジタルチューナ内蔵テレビ）などの保護回路が動作して電源供給が止まり、受信できなくなることがあります。
なお、ショート原因を除去後の復旧方法は、機器によって異なりますので、その取扱説明書をご確認ください。

施工説明書

ご使用の前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。また施工前に製品の外観に異常がないか、付属品が正しく入っているか確認してください。（この製品は、有線電気通信基本法、有線テレビジョン放送法、電気通信事業法等の法規が適用されます。）

・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
・BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.blhp.org/）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング（Tel 03-5211-0559）でもお受け致します。

設置上のご注意

次のような場所に設置しないでください。

- 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
- 人や車両の通行の妨げになる場所
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
- 煙突の付近や、高温になる場所

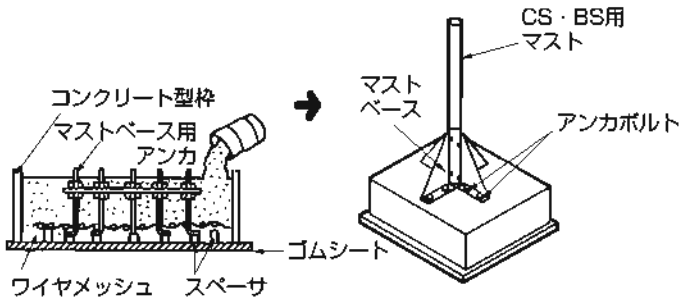
マストは垂直に建ててください。アンテナの取り付けは、マストの基礎が十分に固まった後に行なってください。

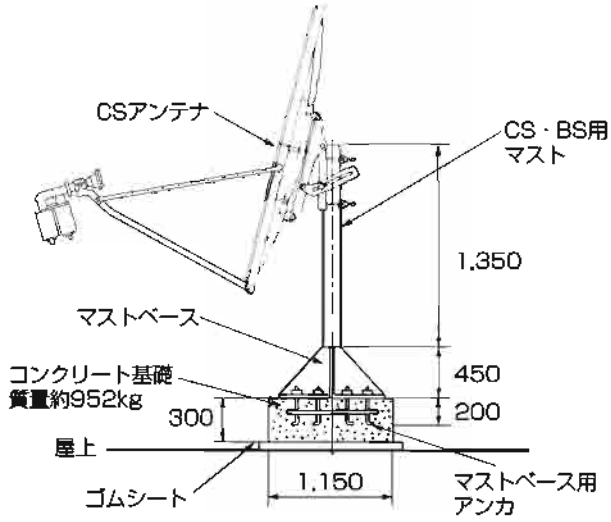
〈屋上設置例〉

①ゴムシートの上にコンクリート型枠を組み、スペーサの上にマストベース用アンカとワイヤメッシュを乗せ、コンクリートを注入します。（マストベース用アンカのアンカボルトの位置は、直角位置決めゲージで正確に調整しておきます。）約一週間後、型枠をはずし、表面、側面をモルタル仕上げします。

②アンカボルトにマストベースを取り付け、CS・BS用マストを挿入して固定します。

- 既設の建物の場合は、屋上にゴムシートなどを介してコンクリート架台を設置してください。
- 新築の建物の場合は、マストベース用アンカを鉄筋などに溶接しますと更に強固に設置できます。

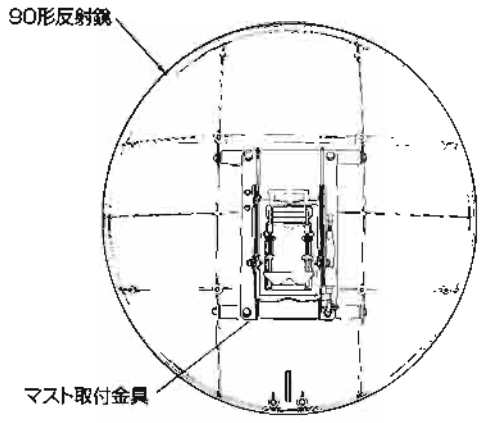




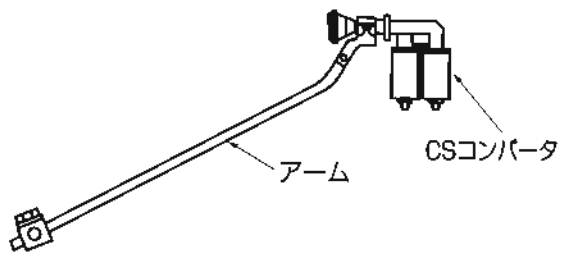
（単位mm）

構成部品

反射鏡（マスト取付金具）×1

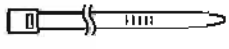


アーム×1



ステー×2

付属品



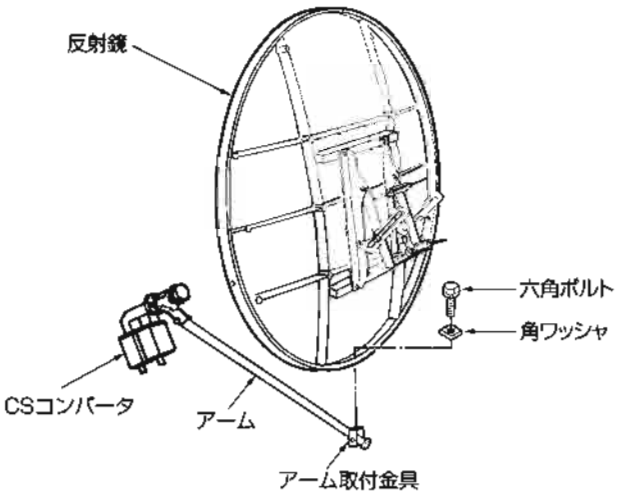
ケーブル
固定バンド
2本

自己融着テープ
2巻

組立方法

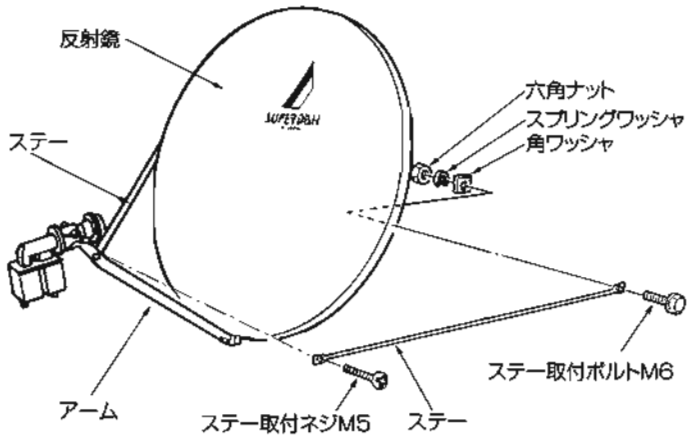
＜CSコンバータ,アームとステーの組立て＞

- アームの先端についているアーム取付金具から角ワッシャと六角ボルトをはずし、下図のように反射鏡に締め付け固定してください。



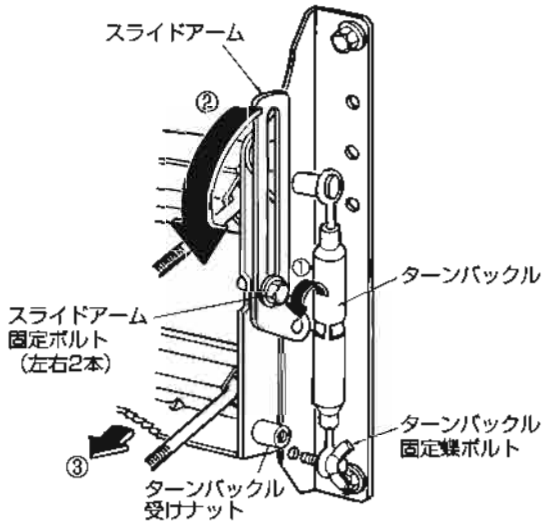
締付トルク	M5　2~3N·m M6　4~4.5N·m

- アームを取り付けた後、ステーを取り付けます。このとき、ステーの反射鏡側から六角ナット、スプリングワッシャ、角ワッシャをはずし、反射鏡に仮止めしてください。ステーのアーム側のステー取付ネジ（M5）を締め付け、最後に反射鏡側のステー取付ボルト（M6）、六角ナットを左右交互に締め付けてください。
（反射鏡側を先に締め込むと、組立てにくくなります。）



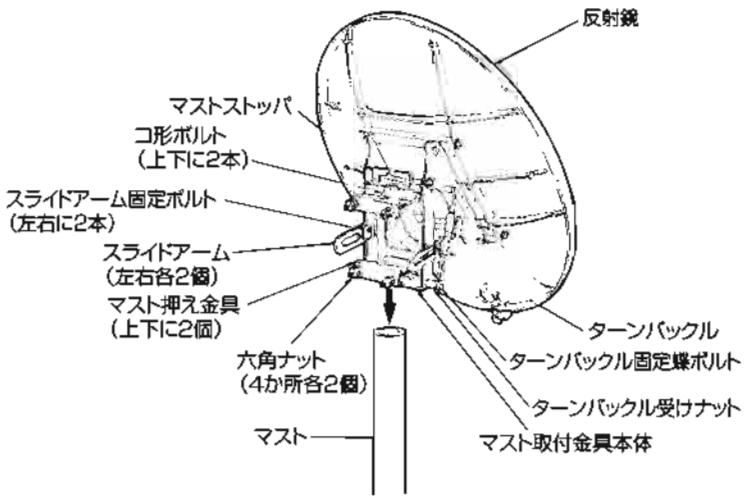
〈マスト取付金具の組立て〉

- 固定用のビニタイをはずしてください。
- スライドアーム固定ボルトを、スライドアームの移動がスムーズにできるように左右とも緩めてください。（順序①）
- 左右のスライドアームの上端を手前に引いてください。（順序②）
- マスト取付金具本体の下部を手前に引き出してください。（順序③）
- ターンバックル先端のターンバックル固定蝶ボルトをターンバックル受けナットに仮止めしてくだい。



取付方法

- マスト取付金具は直径48.6㎜~90㎜のマストに取り付けることができます。
- マスト押え金具（上下2個）とマスト取付金具本体の間にマストが入るよう六角ボルトを十分緩めてください。
- マストをマストストッパまで差し込み、六角ナット4個を左右均等に締めて仮止めしてください。
（最終的な固定は、アンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）
- このマスト取付金具はマストの中間に取り付けて使用することはできません。マストの中間に取り付けて使用する場合は、別売りのマウントアダプタ（PT-109）をご使用ください。



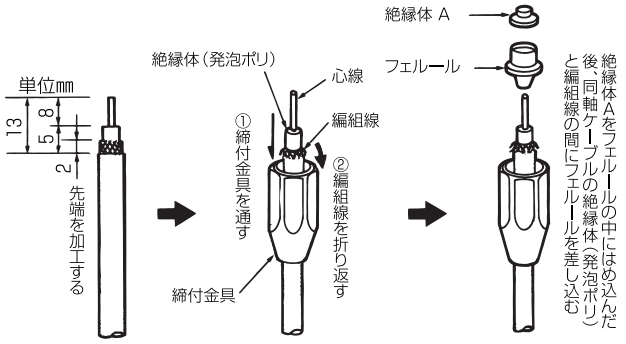
施工説明書

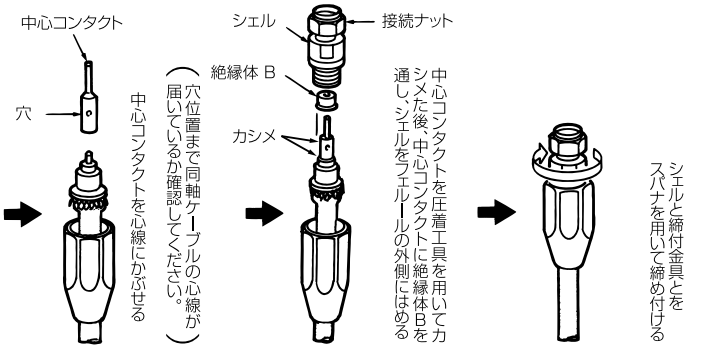
アンテナとケーブルの接続

●同軸ケーブルはS-5C-FB、S-7C-FB相当以上の性能を有するものを、また、接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水形F形接栓をご使用ください。

〈防水形接栓（別売品）の5C相当同軸ケーブルへの接続〉

●同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因となりますので、ご注意ください。また、心線と編組線は絶対に接触しないようご注意ください。

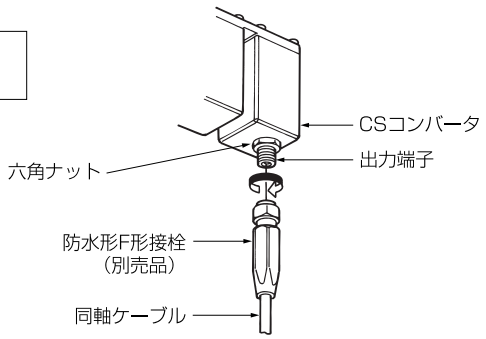




〈出力端子への接栓の接続〉

●図のようにCSコンバータの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかり締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので2N・m以上のトルクで締めないでください。

締付トルク
1～2N·m



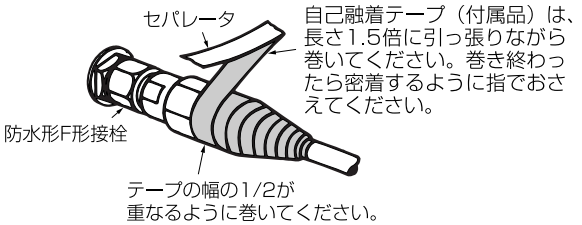
〈ご注意〉

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。

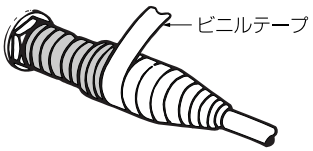
〈接栓の防水処理〉

●出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

①自己融着テープを巻きつけます

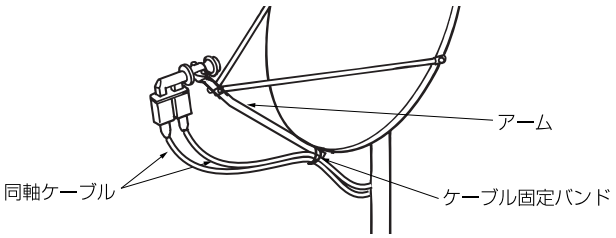


②さらにその上にビニルテープを巻きつけます。



〈同軸ケーブルの固定〉

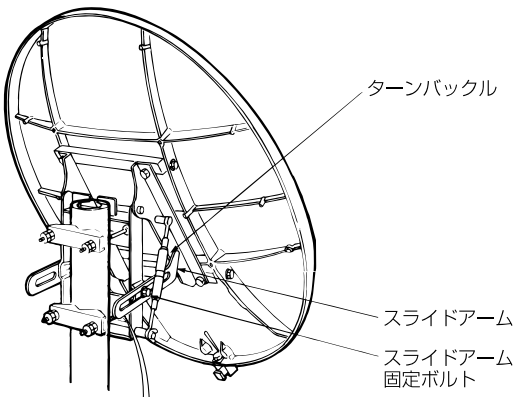
●CSコンバータの出力端子に接続した同軸ケーブルは、右図のように余裕をもって引きまわし、ケーブル固定バンドをアームに巻きつけて固定します。

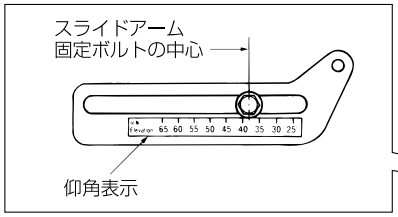


調整方法

〈仰角の粗調整〉

①別表（7ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」から、アンテナ設置場所のおよその仰角を求めてください。
②左右2本のスライドアーム固定ボルトを緩めてください。
③ターンバックルをスパナなどで回転させて、スライドアーム固定ボルトの中心をスライドアームの仰角表示の位置に合わせて仮固定してください。
（左右2か所）





CSA-901B 5/8

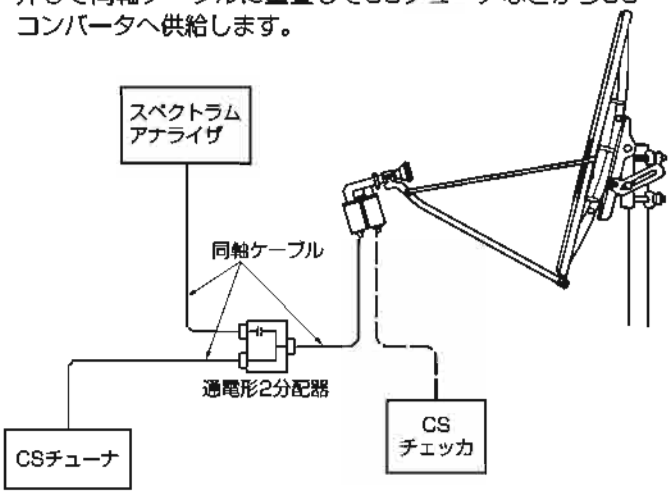
調整方法のつづき

〈方位角の粗調整〉

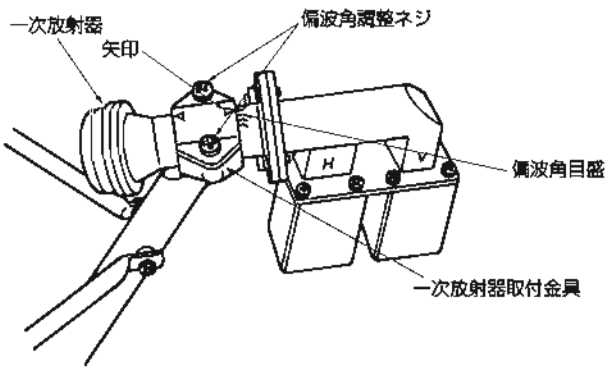
①マスト押え金具の六角ナットを緩めます。（4か所）
②別表（7ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」から、アンテナ設置場所のおよその方位角を求めてください。
③市販の方位磁石などでおよその方向を確認し、反射鏡を回転させ六角ナットを締めて仮止めしてください。（ビルの屋上など方位磁石の近くに磁性体がある場合は、方位磁石が正確に働かない場合があります。この場合は方位磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。）
※最終的に、正確な仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信して行います。

〈仰角・方位角・偏波角の正確な調整〉

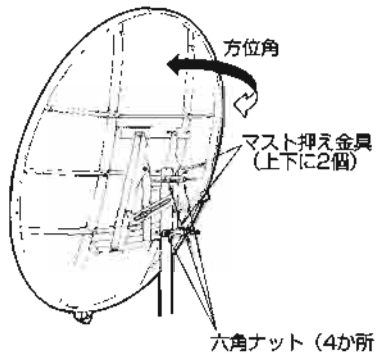
CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。
CSアンテナの正確な方向調整はCSチェッカおよびスペクトラムアナライザなどを用いる方法について説明します。
①CSアンテナを通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザ・CSチューナなどに接続するか、またはCSチェッカに接続してください。
②CSコンバータ電源（DC15V）は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCSチューナなどからCSコンバータへ供給します。



③一次放射器取付金具の偏波角調整ネジを左右均等に緩めます。
④別表（7ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」より偏波角を求め、偏波角目盛を矢印に合わせます。
⑤偏波角調整ネジを左右均等に締め付け仮固定します。

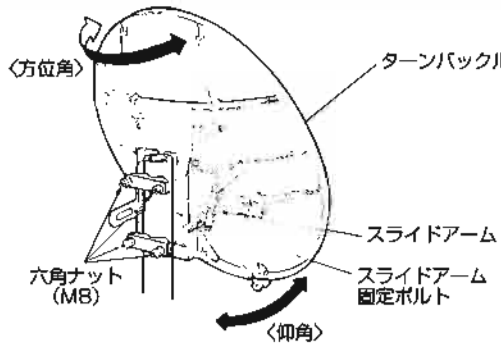


⑥仰角調整はターンバックルを回してスペクトラムアナライザまたは、CSチェッカの指示レベルが最大（最良）となる方向に調整します。



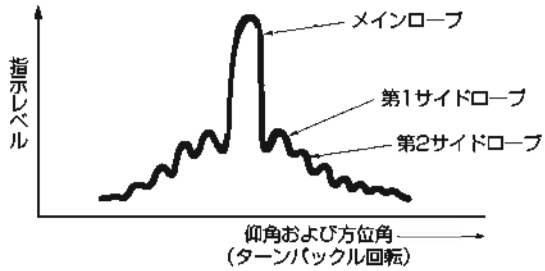
⑦スライドアーム固定ボルトを仮止めします。（左右2か所）
⑧方位角調整についても仰角調整と同様に指示レベルが最大（最良）となるよう調整します。
⑨六角ナットを仮止めします。（内側の1個4か所）

※隣接する他の衛星との角度差が狭いため、間違って隣接衛星を受信していないか、テレビの画像と番組表とで確認してください。



※このとき、サイドローブと間違えないためにこの振れを通り越して、次の指示レベルが大きくなるところまでアンテナを回して図のような（仰角、方位角/指示レベル）特性になっていることを確認した後、指示レベルが最大（最良）（メインローブ）の仰角、方位角に戻します。

（仰角、方位角/指示レベル）特性



⑩再度スライドアーム固定ボルトを緩めて、ターンバックルを回転させ反射鏡を上下にゆっくり振り指示レベルが最大（最良）となる仰角に調整します。
⑪スライドアーム固定ボルトを仮止めします。
⑫再度、六角ナットを緩めて⑧の操作をします。
⑬六角ナットを方向がズレないように左右交互に締め付け固定します。
⑭仰角を調整し、指示レベルが最大の仰角でスライドアーム固定ボルト（左右2か所）を締め付け固定します。
※六角ナット・スライドアーム固定ボルトは、スパナなどでしっかりと締め付けてください。
⑮最後に偏波角調整ネジを少し緩めて偏波角の微調整を行います。交差偏波のCSコンバータ（垂直偏波のCSコンバータで受信した場合は、水平偏波のCSコンバータ）のレベルが最小となるよう一次放射器をゆっくり左右に回転させて調整します。
⑯偏波角調整ネジを左右均等に締め付けてしっかりと固定します。

M8	12～14N・m
M5ネジ	1～1.5N・m

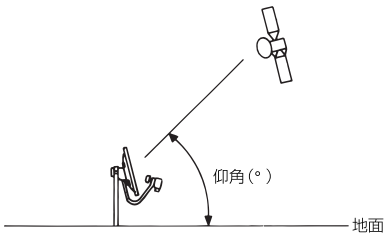
施工説明書

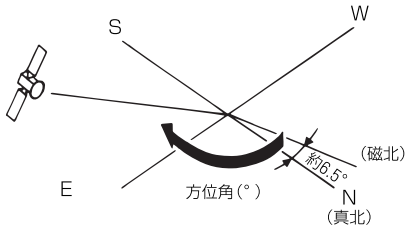
調整方法のつづき

〈主な設置地区の仰角と方位角と偏波角〉

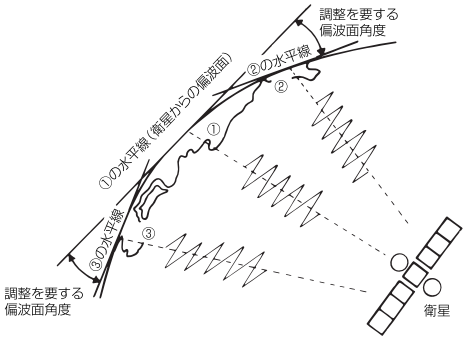
仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角、偏波角の表は調整の目安としてご参照ください。

●仰角…受信点から衛星を見上げた角度　●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度　●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き





※磁北…方位磁石が示す北



JCSAT-3号(東経128°) パーフェクTV! サービス

都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚　内	36.0	198.9	13	水　戸	45.8	200.5	16	名古屋	48.0	195.3	12	広　島	49.8	187.8	6
旭　川	37.5	200.3	15	前　橋	46.2	198.3	15	豊　橋	48.4	196.2	13	徳　島	49.8	191.6	10
根　室	37.0	204.8	18	土　浦	46.2	200.2	16	津	48.7	194.7	12	高　松	49.6	190.7	9
釧　路	37.7	203.3	17	さいたま	46.6	199.4	16	福　井	47.3	193.8	11	松　山	50.3	188.5	7
札　幌	38.5	199.1	14	千　葉	46.7	199.8	16	大　津	48.5	193.6	11	高　知	50.5	190.0	8
函　館	40.0	198.7	14	東　京	46.8	199.6	16	京　都	48.5	193.3	11	山　口	50.1	185.4	4
青　森	41.0	199.1	14	甲　府	47.1	197.8	14	奈　良	48.9	193.3	11	北九州	50.5	185.2	4
盛　岡	42.1	200.1	15	厚　木	47.1	199.1	15	大　阪	49.0	193.1	11	福　岡	50.9	184.3	4
秋　田	42.4	198.6	14	横　浜	47.0	199.6	16	堺	49.0	193.0	11	大　分	51.2	186.6	6
仙　台	43.7	200.3	16	長　野	46.1	196.8	13	神　戸	49.0	192.5	10	熊　本	51.7	185.0	4
山　形	43.8	199.5	15	静　岡	47.9	197.8	14	姫　路	48.9	191.6	9	佐　賀	51.3	184.2	4
福　島	44.3	199.9	16	浜　松	48.4	196.8	14	和歌山	49.5	192.6	10	長　崎	51.9	183.5	3
新　潟	44.6	197.6	14	富　山	46.3	195.2	12	鳥　取	48.2	190.6	9	宮　崎	52.7	186.5	5
郡　山	44.7	199.9	16	金　沢	46.6	194.3	11	松　江	48.2	188.6	7	鹿児島	53.1	184.9	4
宇都宮	45.8	199.5	16	岐　阜	47.8	194.9	12	岡　山	49.2	190.3	8	那　覇	59.4	179.3	−1

JCSAT-4号(東経124°) スカイサービス

都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚　内	34.8	204.1	17	水　戸	43.3	206.5	21	名古屋	46.9	201.8	18	広　島	49.0	194.7	12
旭　川	36.3	205.6	18	前　橋	44.9	204.4	19	豊　橋	47.1	202.7	18	徳　島	48.8	198.4	15
根　室	35.5	210.0	21	土　浦	44.8	206.3	21	津	47.5	201.3	17	高　松	48.7	197.5	14
釧　路	36.3	208.6	21	さいたま	45.2	205.5	20	福　井	46.2	200.2	16	松　山	49.6	195.5	13
札　幌	37.3	204.6	18	千　葉	45.3	206.0	21	大　津	47.4	200.1	16	高　知	49.6	196.9	14
函　館	38.8	204.3	18	東　京	45.4	205.7	21	京　都	47.4	199.9	16	山　口	49.6	192.4	10
青　森	39.8	204.8	18	甲　府	45.8	204.0	19	奈　良	47.9	200.0	16	北九州	49.9	192.2	10
盛　岡	40.7	205.8	20	厚　木	45.7	205.4	20	大　阪	47.9	199.7	16	福　岡	50.4	191.5	10
秋　田	41.1	204.3	18	横　浜	45.6	205.8	21	堺	48.0	199.7	16	大　分	50.5	193.7	11
仙　台	42.3	206.1	20	長　野	44.9	203.0	18	神　戸	48.0	199.2	16	熊　本	51.1	192.3	10
山　形	42.5	205.4	20	静　岡	46.6	204.1	20	姫　路	48.0	198.3	15	佐　賀	50.7	191.4	10
福　島	43.0	205.8	20	浜　松	47.1	203.2	19	和歌山	48.5	199.3	16	長　崎	51.4	190.8	9
新　潟	43.3	203.6	18	富　山	45.2	201.4	17	鳥　取	47.4	197.2	14	宮　崎	52.0	193.8	12
郡　山	43.3	205.8	20	金　沢	45.5	200.7	16	松　江	47.5	195.2	12	鹿児島	52.6	192.4	11
宇都宮	44.4	205.5	20	岐　阜	46.7	201.4	17	岡　山	48.3	197.1	14	那　覇	59.1	188.3	7

各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石を用いて方位角を求めるときは、表示の角度に約6.5度加えてください。

保証について

●この製品の保証期間は、お引き渡しの日から5年間（コンバータ部は2年間）です。保証期間内に取扱説明書記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合、ご購入店または裏表紙のDXアンテナ各営業所にお申し付けください。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

①日本国以外で使用した場合の不具合。

②住宅用途以外で使用した場合の不具合。

③ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。

④メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。

⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。

⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。

⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。

⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合。

⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。

⑩電気の供給トラブル等に起因する不具合。

⑪瑕疵に起因して住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

⑫お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

⑬この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保　証　書

品番	※お買上年月日	保証期間
CSA-901B	年　月　日	お買上げ日より コンバータ　2年間 アンテナ本体 5年間

※ご販売店	※お客様
ご住所・ご店名 電話（　　）　－	お名前　ふりがな　様 ご住所　□□□-□□□□　電話（　　）　－

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所 TEL.(043)823-6281(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
・東京支店 TEL.(03)3341-4569(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6865(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・松本出張所 TEL.(0263)27-7601(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・埼玉支店 TEL.(048)852-3311(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)		・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代) ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

（2006年12月現在）

DXアンテナ株式会社
本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/